

企画展示

1 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023

2023年4月22日|土|－6月18日|日|

観覧無料 展示室3ほか

「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2023」は、幅4.8m×奥行4.8m×高さ3.6mのキューブ空間で、作家たちに自由に表現してもらう革新的な企画公募展です。2017年、2020年に続いて3回目となる今回のテーマは「リアル」のゆくえ。美術館内の展示室を会場に、14作品が展示されます。



AAIC 2020 大賞
山本麻璃絵・姫野亜也
《石斧をモチーフにした石斧の彫刻》

2 令和5年度岐阜県青少年美術展

2023年7月1日|土|－7月9日|日|

観覧無料 展示室3ほか

青少年への美術の普及のため、広く県内から作品を公募し、一般に公開する展覧会です。青年部と少年部があり、青年部は絵画、デザイン、立体造形、書道、写真の5部門、少年部は絵画・デザイン、書写の2部門を公募します。

3 こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界

2023年7月21日|金|－9月24日|日|

一般1,000(900)円／大学生800(700)円 展示室3

ロングセラー「こぐまちゃんえほん」シリーズを描いたわかやまけん(若山憲、1930-2015)は岐阜県出身。幻想的な絵に現代社会へのメッセージをのせた『きつねのよめいり』、泣き虫だけれど一生懸命な「おばけのどろんどろん」シリーズ、民話絵本や詩集の挿画など、その驚くほどに多彩で豊かな創作の全貌を紹介する初めての展覧会です。



『こぐまちゃんとどうぶつえん』
(こぐま社)より
©わかやまけん

4 IAMAS ARTIST FILE #09

※展覧会名を変更する場合がございます。

〈方法主義芸術〉—規則・解釈・(反)身体[※]

出品作家：足立 智美 / 中ザワヒデキ / 松井 茂 / 三輪 眞弘

2023年10月11日|水|－12月24日|日|

一般340(280)円／大学生220(160)円 展示室2

ゼロ年代初頭の芸術運動「方法主義」は、同時代芸術を批判し、厳密な規則による絵画・詩・音楽を発表しました。岐阜県美術館と情報科学芸術大学院大学[IAMAS]の連携事業である「IAMAS ARTIST FILE #09」では、IAMAS教員2名(三輪眞弘・松井茂)がメンバーとして参加した「方法主義」の軌跡を辿り、その活動を再考します。



方法公式写真 2004
左から三輪眞弘、松井茂、中ザワヒデキ
撮影：井村一巴

5 越山若水が育んだ美 —福井県立美術館・若狭歴史博物館名品展—

2023年10月14日|土|－12月3日|日|

一般1,000(900)円／大学生700(600)円 展示室3

福井と岐阜、両県文化交流のシンボルとして、両県県立美術館の連携による展覧会を開催します。福井県立美術館のコレクションから選り抜いた名作を公開します。また、同館が寄託を受けている文化財や、福井県立若狭歴史博物館の収蔵品もあわせて展示します。国指定重要文化財を交えた越前と若狭の名品をご堪能ください。



岩佐又兵衛勝以《三十六歌仙図 中務》
江戸時代(17世紀) 福井県立美術館蔵
(11月7日から展示)

6 走泥社再考 前衛陶芸が生まれた時代

2023年12月19日|火|－2024年2月18日|日|

一般1,000(900)円／大学生800(700)円 展示室3

戦後の四半世紀、やきものの立体造形を模索した陶芸の前衛運動—八木一夫や山田光、鈴木治らによる「走泥社」、林康夫らの「四耕会」に同時代のイサム・ノグチ、ピカソや関係作家の作品を加え、走泥社と前衛を再考する。



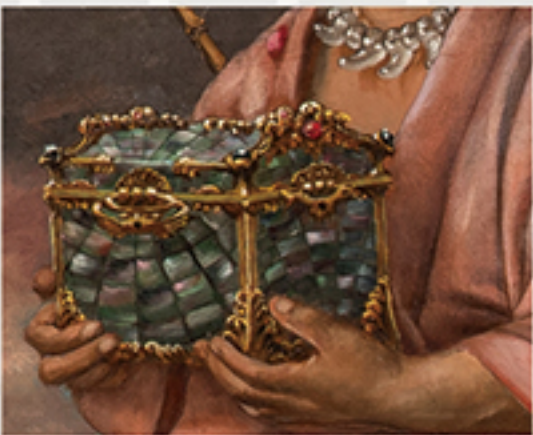
八木一夫《ザムザ氏の散歩》
1954年 京都国立近代美術館蔵

7 アートまるケット

2024年1月13日|土|－3月17日|日|

観覧無料 展示室2

2015年度からはじまった日比野克彦館長ディレクションによる「アートまるケット」。岐阜をアートまみれにして美を楽しむ本プロジェクトの9回目となる今回は、コレクションによって美術館と世界がつながっていきます。



山本芳翠《浦島》(部分)
1893-95年頃 岐阜県美術館蔵

8 クロスアート4

2024年3月29日|金|－

一般1,000(900)円／大学生800(700)円 展示室3

岐阜県ゆかりの美術家を紹介するシリーズ企画も今回で4回目。ニューヨークを拠点とする松山智一、マドリッドを拠点とする公花、動く影の彫刻を制作する後藤映則、ネオンや日用品、自らの日常を絵画にする横山奈美、皮膚や顔といった表層をテーマに制作する山内祥太ら(予定)岐阜の地から現在世界的な評価を受ける作家たちを紹介します。



横山奈美《forever》
(全30枚中の1枚)
2021年 撮影：若林勇人
AiM Vol.11 岐阜県美術館
アトリエにて制作



アーティストミュージアム AiM

観覧無料
アトリエ

アーティストが公開制作、作品展示を行います。
アートが生まれる瞬間をぜひご覧ください。

1 Vol.14 設楽 陸

夏：2023年7月中旬－9月中旬

2 Vol.15 トザキケイコ

秋：2023年10月上旬－12月上旬



所蔵品展示

一般340(280)円／大学生220(160)円 展示室1ほか

1 水彩画—『みずゑ』とよばれた時代から

2023年4月1日|土|－6月18日|日|

2 ルドンコレクションから

2023年4月1日|土|－6月18日|日|
2023年6月27日|火|－10月1日|日|
2023年9月20日|水|－12月24日|日|
2024年1月5日|金|－4月7日|日|

3 清水九兵衛《CORRESPOND A》

2023年4月1日|土|－9月10日|日|

4 ぎふの日本画 水墨の彩り

2023年4月1日|土|－7月2日|日|

5 新収蔵品お披露目展

2023年4月11日|火|－6月18日|日|

6 さかのぼり岐阜洋画史 平成・昭和編

2023年6月27日|火|－10月1日|日|

7 没後20年 細江光洋展[※]

2023年7月1日|土|－9月3日|日|

8 季節のうつろい 夏から秋へ

2023年7月11日|火|－11月5日|日|

9 さかのぼり岐阜洋画史 大正・明治編

2023年10月11日|水|－12月24日|日|

10 林武史《石間》 安藤基金コレクションから

2023年10月11日|水|－12月24日|日|

11 フォルム—やきものから

2023年11月14日|火|－2024年3月3日|日|

12 フランスに渡った日本人画家

2024年1月5日|金|－3月31日|日|

13 ぎふの日本画 おいしかったよ すばらしい鮎だ

2024年3月12日|火|－

利用案内

開館時間

10:00－18:00

*下記(第3金曜日)は20:00まで夜間開館

2023年5月19日、6月16日、7月21日、8月18日、9月15日、
10月20日、11月17日
2024年1月19日、2月16日

*展示室への入場は閉館30分前まで

休館日

- 月曜日(祝・休日の場合はその翌平日)
- 年末年始 2023年12月25日|月|－2024年1月4日|木|
- 臨時休館 2023年6月19日|月|－6月26日|月|

観覧料

所蔵品展 一般 340(280)円

大学生 220(160)円

※()内は20名以上の団体料金

企画展 内面をご確認ください。

※無料開放日：11月3日|金・祝|
「岐阜—ふるさとを学ぶ日」

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、難病に関する医療費受給者証の交付を受けている方とその付き添いの方(1名まで)は無料で観覧できます。展示室改札にて手帳をご提示ください。

岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, Gifu

〒500-8368

岐阜市宇佐4-1-22

TEL 058-271-1313

FAX 058-271-1315

https://kenbi.pref.gifu.lg.jp

諸事情により記載内容を変更する場合がございます。最新情報は当館Webサイトをご覧ください。



高校生まで
無料です!



『ミュージアムの女』
(©宇佐江みつこ)ほか、
最新情報は当館公式
SNSにて配信中!

- Twitter
- Facebook
- Instagram
- YouTube

